



# 新聞記事データベースの活用支援

## <抄録>

学校図書館は、資料の充実だけでなくその活用までを考えた支援が重要である。新聞記事データベースを生徒が知り、それを活用できるまでには、教科教員と連携し、まずは「使ってみる」という体験、そして「便利だ!」と実感させることから始める必要がある。

## <キーワード>

学校図書館、利用指導、新聞記事データベース

## 1 はじめに

田園調布学園中等部高等部は、東京都世田谷区にある中高一貫の私立女子校である。生徒は、中等部高等部ともに1クラス平均40名程度が在籍し、1学年5クラス編成である。

図書館は、校舎の中央に位置し、どの学年からもアクセスがよい。蔵書数は約35,000冊であり、全て電算化している。またネット環境も整っており、図書館内でパソコン6台、iPad15台が利用できる。新聞記事、百科事典データベースも契約していて、これらは校内のパソコンでも自由に利用できるようになっている。

## 2 図書館の利用指導

学校図書館は質量ともに資料の充実はもちろんのことだが、それを活用することも重要である。機会を捉えては頻りに教科教員と連携し、図書館の利用指導を行っている。例えば、各教科の調べ学習や行事の事前学習等で、効果的な資料の検索整理の方法等を伝え、情報活用能力を身に付けるための指導をしている。

特にデータベースについては、「こういうものがある」とサービス名や検索機能を伝えるだけでは不十分である。一度でも実際に利用して「便利だ!使える!」という実感を持たせることが活用につながる一歩である。本稿では、学校司書という立場から生徒に新聞記事データベースについて、その存在を伝え、各個人が自主的に活用できるようになるまでの事例を紹介したい。

## 3 新聞記事データベースの授業活用事例

### (1) 中等部3年 公民「新聞記事の探し方」

中等部3年の公民の授業では、生徒自身で新聞記事を材料に時事問題を取り上げて発表する「5分間ニュースキャスト

ー」という取り組みがある。毎日、新聞を読み、興味を持った記事を探すことが前提ではあるが、新聞を取っていない家庭が年々増えていたり、記事を探すことに苦労したりする生徒もいる。そこで、図書館では図1のようなプリントを配付している。本プリントが、生徒が新聞記事データベースを利用する第一歩となる。これにより、関連の新聞記事を探すためにデータベースを利用する生徒がいる。

田園調布学園  
図書館

### 新聞記事の探し方


**新聞を読もう**

図書館で所蔵する新聞は、朝日・毎日・読売・日本経済新聞の4紙です。いずれも、朝刊・夕刊があります。朝日・毎日・読売新聞は過去1年分、日本経済新聞は過去1か月分保存しています。


**新聞記事を探そう**

毎日、新聞を読んでいても、うっかり興味のある記事を切り取るのを忘れて、「いつだったっけ〜?」と古い新聞をめくって探したことはありませんか? そんなときに便利なツールが新聞記事検索データベースです。図書館では2社のデータベースを契約しており、校内のパソコンの「図書館お助けページ」(Sフォルダー図書館)からアクセスできます。

① 朝日けんさくくん (朝日新聞)



② スクールヨミダス (読売新聞)



ニュースサイトとどう違うの?

古い記事も検索できます。1980年代の記事から閲覧可能です。さらに、紙面イメージで記事を読むこともできます。

キーワードを入れて検索したら、1000件以上結果が出てきて大変!

検索オプションを利用して、対象期間や朝夕刊を指定して絞り込んでみましょう。

検索オプション	
対象期間	<input type="radio"/> 2か月 <input type="radio"/> 6か月 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 全期間 <input type="text" value="年"/> 年 <input type="text" value="月"/> 月 <input type="text" value="日"/> 日 から <input type="text" value="年"/> 年 <input type="text" value="月"/> 月 <input type="text" value="日"/> 日
対象紙種	<input type="checkbox"/> 朝日新聞 <input type="checkbox"/> 朝日新聞デジタル <input type="checkbox"/> アメト <input type="checkbox"/> 毎日新聞 <input type="checkbox"/> 朝刊 <input type="checkbox"/> 夕刊
語系 (言語)	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="語系参照"/> (英・日・中・科学)

図1 データベース紹介プリント

### (2) 高等部1年 情報「インターネット検索のコツ」

高等部1年の情報では、毎年データベースを利用した授業を教科教員と協働で行っている。当初は、図書館からの出前授業というカタチで、1コマ「インターネット検索のコツ」と題し、パソコン室で1人1台パソコンを操作させ、実習し

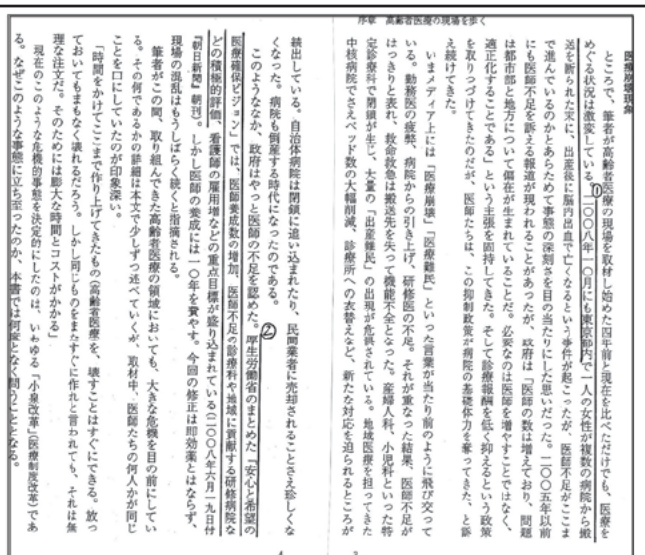
ながら主にネットでの情報収集の方法を伝えていた。その中で、新聞記事データベースについても紹介し、簡単な課題を出した。例えば、「自分の誕生日の新聞を検索してみよう」といった課題は、生徒に好評であった。「朝刊1面の記事を検索し、文字数の多い記事を探す」など条件を示し、検索方法をあれこれ試して目的の新聞記事を見つけさせるにはよい練習であった。Yahoo!やGoogleといった検索エンジンでの検索に慣れている多くの生徒は、必ず検索結果は出るものと誤解する。課題によっては、「何度検索しても結果が出ません」と不思議がり、質問が出る。そのときは、新聞の特性を伝える好機である。自分たちが今検索しているデータベースは「新聞」であり、休刊日に注意したり、記事で使われるような言葉の選定が必要であったりすることを伝える。ただ、この実習だけでは、データベースの検索方法は理解しても、レポートなどの課題のときにも自ら使ってみよう、という意欲まで持たせることは難しかった。有料新聞記事データベースの存在や使い方はあらかじめ理解したものの、自主的な活用までには至らなかったのである。

そこで、次の年には新聞記事データベースを活用するのにふさわしい場面を設定する工夫をした。『ルボ高齢者医療地域で支えるために 岩波新書』（佐藤幹夫 岩波書店 2009）の一部より、「二〇〇八年一〇月にも東京都内で一人の女性が複数の病院から搬送を断られた末に、出産後に脳内出血で亡くなるという事件」（図2傍線①）とは、いつ、どんな見出しで報道されているのか、引用されている新聞記事「二〇〇八年六月十九日付『朝日新聞』朝刊」（図2傍線②）を実際に探すための方法を考えさせた。課題を改善したことで、生徒は、データベースの使い方と活用方法を一連の流れで理解することができ、今後他のレポートの課題などでも活用できそうだとの見通しを持つことができたようだ。「もっと早くこのデータベースを知っていればよかった」という反応もあった。

今年度は、より実践的に活用できるようにと、家庭科と情報科の教員と相談し、「パワーポイントでプレゼンテーションをする」という学習の中で、検索実習を取り入れることにした。家庭科との連携授業のため「ライフステージ」をテーマに、関連した情報を集めるにはどうしたらよいか、方法を問うことから始めた。新聞記事データベースの使い方を示しながら、個人のテーマにあった情報を収集し、プレゼンテーションにそれぞれ活かすことでより実践的になった。

#### 4 まとめ

本校の図書館では、新聞記事データベースを10年前から導入している。導入当初は教員さえ、利用はなかなかすすまなかった。当時は紙面イメージが見られる記事も少なかったもので、冊子の新聞縮刷版も併用しながら「教材を探すときに、このように利用してみてもどうか」といったことを教科ごとに教員にレクチャーすることで、徐々に活用も広まった。最近のデータベースの改良はめざましい。例えば、朝日新聞記



『ルボ高齢者医療 地域で支えるために 岩波新書』佐藤幹夫 岩波書店 2009年p.3-4より

Q4 ①の事件は、朝日新聞・読売新聞では、いつ、どんな見出しで報道されていますか。

朝日新聞 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 朝刊・夕刊 面名 \_\_\_\_\_ (ページ) \_\_\_\_\_

見出し \_\_\_\_\_

読売新聞 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 朝刊・夕刊 面名 \_\_\_\_\_ (ページ) \_\_\_\_\_

見出し \_\_\_\_\_

Q5 ②の記事の見出しを調べてください。また、何面に掲載されていますか？

見出し \_\_\_\_\_ 面 \_\_\_\_\_

図2 新聞記事データベース検索実習の課題例

事データベース「朝日けんさくくん」では便利なナビ検索機能が追加されたので、「天声人語」や教育関連のコラムも一気に閲覧できること等を伝える講習会も教員向けに図書館が実施した。

生徒にも同様に、新聞記事データベースの使い方を伝えることはもちろんであるが、「どのようなときに使うと便利か」「どのような活用方法があるのか」といったことも意識して紹介したい。新聞記事データベースの価値に気づくことは、「新聞」とはどういったメディアであるかということを考えることにもつながる。ネットニュースで十分だと思っている生徒にも、過去に起きたことが当時どのような様子で伝えられていたか、それが現在に至るまでどういった流れを経てきたのか、紙面を読むことにより当時と現在を比較するといったこともできる。そういった新聞の特性を生徒の目の前で見せることが、ひいては新聞の特徴を体感させることになる。それだけではなく、生徒自身が、課題解決のために情報収集したり、考えたりするときに、インターネットだけに頼るのではなく、あらゆるメディアから情報収集し、選択する必要があることを理解することにもつながる。全ての教科学習で、新聞記事データベースをはじめさまざまなメディアを知り、活用する機会を増やすことが重要である。